

稲生沢地域まちづくり会議ニュース 第3号

「災害後の復興まちづくりを考える」平成 27 年 1 月 6 日(火) 会場：稲生沢公民館

稲生沢地域で活動や居住されている 20 名のまちづくり会議委員によって、最終回は、大規模地震により津波が発生し、下田が被災したことを想定して、「震災後の下田市(稲生沢地域)のまちづくり」について話し合いました。

Aグループ、Bグループの成果

学校は一時的な避難地とはなるが、長期的には学業のためにも使用できない

家が密集していて怖い。

山が急傾斜であり、崩壊して危険な所が多い。

津波はなくても、古い建物は、崩れる可能性が高いので、耐震補強を行うべき。

本郷橋と立野橋が生命線である。災害対策が必要。

国の基準に合っていないのではないか。(河川)

河川の土砂が堆積して怖い土砂撤去をしても3年くらいするとすぐに埋もれてしまう

中地区には高台移転する場所がないのでは

縦貫道の建設発生土を利用、谷を埋めて平坦な土地にして災害後活用できる土地にできないか。問題は、道路が狭くダンプが入れない。2t車では時間がかかる。

災害時に陸の孤島とならないよう、大沢地区の山にヘリポートを確保する。

災害後、浸水区域外の公民館は、浸水域内の人々が利用できる重要な建物になるのではないかと。各地区の公民館を相互に協力できる体制が必要。

津波による浸水の見方

浸水深さ	高さの目安と情報
0.30m以下	水の浸透・浸透して
0.30m~0.50m	水の浸透・浸透して、一部の建物に浸水する可能性がある
0.50m~1.00m	水の浸透・浸透して、一部の建物に浸水する可能性がある。一部の建物に浸水する可能性がある
1.00m~1.50m	水の浸透・浸透して、一部の建物に浸水する可能性がある。一部の建物に浸水する可能性がある
1.50m~2.00m	水の浸透・浸透して、一部の建物に浸水する可能性がある。一部の建物に浸水する可能性がある
2.00m~2.50m	水の浸透・浸透して、一部の建物に浸水する可能性がある。一部の建物に浸水する可能性がある
2.50m~3.00m	水の浸透・浸透して、一部の建物に浸水する可能性がある。一部の建物に浸水する可能性がある
3.00m~3.50m	水の浸透・浸透して、一部の建物に浸水する可能性がある。一部の建物に浸水する可能性がある
3.50m~4.00m	水の浸透・浸透して、一部の建物に浸水する可能性がある。一部の建物に浸水する可能性がある
4.00m以上	水の浸透・浸透して、一部の建物に浸水する可能性がある。一部の建物に浸水する可能性がある

凡例

- 二次避難所
- 津波避難ビル
- 避難所
- 行政機関・民間施設
- 河川
- 公園
- 学校
- 公民館
- 消防本部(消防署・分署)
- 消防団
- 消防署
- 交番
- 警察署

また、これからやるべきことのなかで、特に早急に取り組みたいもの、住民主体で動けそうなことについて、「具体的な企画書づくり」を行いました。

Aグループの事業テーマ(キャッチフレーズ)：四季の花咲く稲生沢

主旨(課題、目的等)

稲生沢地区のシンボルの川である稲生沢川と蓮台寺川を四季折々の花の咲く川とし、住民が親しみ、外部から人が訪れるきれいな川づくりを目指す。

事業内容(具体的取組)

住民が中心となってクリーン作戦を行う
シダレモモ(3月～4月)の植栽を行い「シダレモモの里」とする
アガパンサス(8～9月)の保護と増殖
桜並木(4月)、アジサイ(6月)、彼岸花(9月)、水仙(12月～1月)
リバーフレンドの取組みを全地区へ広げる

日時(期間)、日程

クリーン作戦(5月、8月に行っている)
地域全体へ広げる
シダレモモの植栽をみんなで行う

場所(位置、規模)

稲生沢川や蓮台寺川とその周辺
人
住民が主体。行政(市と土木)の理解と協力が必要

Bグループの事業テーマ(キャッチフレーズ)：地域資源の掘り起しとマップづくり

主旨(課題、目的等)

- ・ 稲生沢地域に一人でも多くの観光客が訪れるように、情報収集とマップづくりを行う。
- ・ 地域ゆかりの小説家、芸術家などの残した作品の一部を石碑や作家の銅像(小さくても良い)をつくり、文学の道、芸術の道などとしてコースを作り散策、歴史や作家・芸術家が愛した場所を散策出来るようにする。

事業内容(具体的取組)

- ・ 歴史、文学等の資源の掘り起し
- ・ 作家や芸術家に縁の石碑や銅像などを少しずつ増やしていくことで来る度に地域の縁の人の記念碑等が増えていく

日時(期間)、日程

- ・ 打合せ(4月以降。花の時期、現地調査)
- ・ 月3回位集まって、早めに対応する

人

各地区から一人ずつ(歴史好きな人など)を出してもらう。

資材、準備

マップづくりは、イラストが描ける人、可愛い字が書ける人などを探す。
石碑や銅像は次の段階

全3回において話し合いました内容は、「下田市都市計画マスタープラン」に位置づけさせていただくとともに、計画書完成後は、市内各地域で順次、実践のための「プロジェクト推進業務」を進めます。

お問い合わせはこちらまで

下田市役所 建設課 都市住宅係
TEL:0558-22-2219 FAX:0558-27-1007
E-mail : kensetsu@city.shimoda.shizuoka.jp